

ICUS

# 大原研究室

## [防災情報の効果的な活用法]

生産技術研究所 都市基盤安全工学国際研究センター  
International Center for Urban Safety Engineering

<http://disaster-net.iis.u-tokyo.ac.jp/>

総合防災管理工学

情報学環

工学系研究科 社会基盤学専攻

## 防災情報の効果検証と活用戦略の研究

Study on Effectiveness and Better Use of Disaster Information

災害リスク情報や災害予警報などの防災情報は、効果的に活用すれば、来るべき災害の被害を大いに軽減できる可能性を持つ。このためには、情報の受け手側である住民のリテラシーや情報伝達メカニズムを十分に理解した上で、何を、誰に、いつ、どのように伝え、どのような対応をとってもらわなければならないかという「防災情報の生産・伝達・利用戦略」を検討しておくことが重要である。地震災害および風水害での情報活用戦略について、下記のような具体的なテーマでの研究を行っている。

- ◆東日本大震災での緊急地震速報に対する住民・企業の対応行動に関する研究
- ◆企業による緊急地震速報の高度利用に関する研究
- ◆災害時の帰宅困難者に対する情報提供および支援対策に関する研究
- ◆首都圏大規模水害時の避難情報の提供方法・避難体制に関する研究

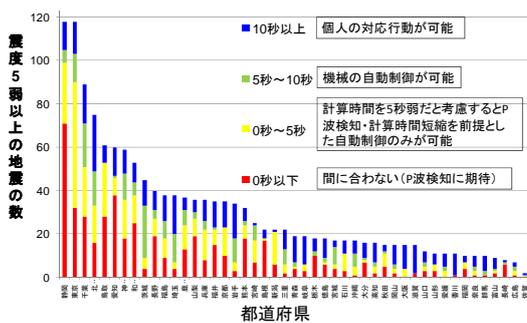


図1. 過去の地震データに基づく緊急地震速報による猶予時間の地域傾向

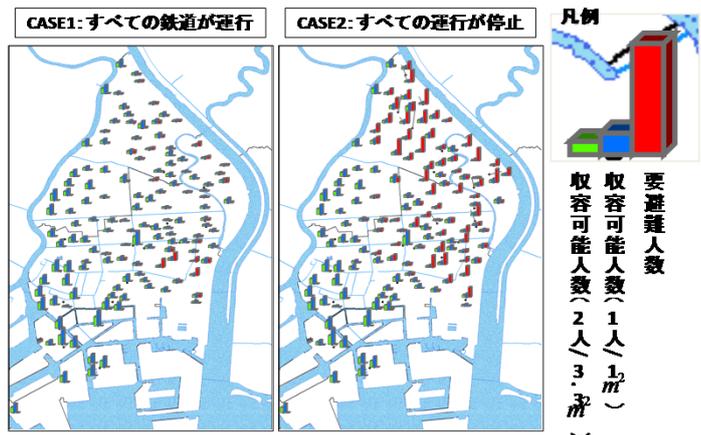


図3 大規模水害時の江東デルタ地帯における指定避難場所の収容力と避難者数

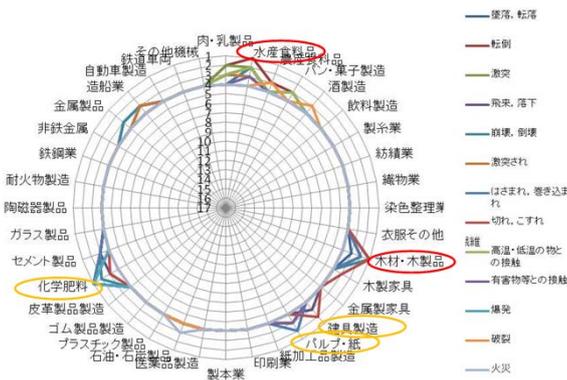


図2. 企業の業種別に見た緊急地震速報の減災効果(北海道)



図4 避難方法・タイミングの検討のため水害リスク可視化システム